

事業名称		達成状況の評価
事業名	社会資本整備総合交付金(広域連携)事業	A
整理番号	24-5	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	上田市	
箇所名	柳沢	
事業年度	H22~R01	
事業概要		配慮した項目 25 = 100% 配慮する全項目 25
目的	道路整備による地域間連携交流の強化、また観光道路として別所温泉、無言館、前山寺等を結ぶ。	
事業概要	道路築造工 延長L=1.4km 道路幅員W=7.5m 車道幅員W=6.0m	
関連する事業計画	なし	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農地法の農地または採草放牧地	
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	【大気汚染の防止】	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実施
	・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	適正に実施
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実施
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	適正に実施
	・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	適正に実施
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施
	水環境	【水質汚濁の防止】
・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。		適正に実施
・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。		適正に実施
地形・地質	【改変面積の最小化】	
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施
	・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	適正に実施
野生動植物	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。	適正に実施
	【地域独自の生物多様性の保全】	
・表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。	適正に実施	
景観	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施
自然とのふれあい	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
文化財等	【文化財等への配慮】	
	・原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。また、史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地を出来るだけ避ける。	適正に実施

廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施
日照障害・ 電波障害・ 光害	【電波障害への配慮】	
	・照明の設置にあたっては照明の範囲、時間、照度、光源種類などに配慮し、周辺の生活環境や野生動植物、農作物等への悪影響を低減する。	適正に実施